

夜明けの風

サトクリフ作 灰島かり訳 ほるぷ出版

六世紀、ブリテンの人々は、サクソン軍に立ちむかって敗れた。父と兄も最後の決戦の中で死に、十四歳の少年オウエインはただひとり生き残った。父の死体から代々受け継がれてきた指輪をもらい、同じように生き残った軍用犬とともに北をめざす。狩りをしながらの旅の途中、飢えた少女レシナと出会うが、レシナは胸をやられ、先へは進めなくなった。オウエインにはレシナをみすみす死なせることはできなかった。レシナを救うためにできることが、まだひとつだけでも残されているうちは。

